

鹽竈十福

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一号
 志波彦神社 社務所
 鹽竈神社
 電話 〇二二三六七一六一(代)
 FAX 〇二二三六五〇五五三〇
<http://www.shiogamajinja.jp/>



別宮拜殿狛犬(宝永二年(一七〇五))



今年の暦、その十二月二十三日「天皇誕生日」の文字に目が止まった。来年に予定される譲位により、この日付での「天皇誕生日」は最後となることに一入感慨を覚える。東日本大震災発生直後の三月十六日の社務所日誌には「午後四時三十分、天皇陛下お励まし御言葉をテレビにて宮司以下謹聴す」とあった。既に電気は戻ったもののガス・水道は未だ復旧せず、職員と家族の安否や神社内外の被災状況の確認などで手一杯の中、皆起立して放送を見ていた。「被災者の状況が少しでも好転し、人々の復興への希望につながっていくことを心から願わずにはいられません。(中略)被災した人々が決して希望を捨てることなく、身体を大切に明日からの日々を生き抜いてくれるよう、また、国民一人びとりが、被災した各地域の上にこれからも長く心を寄せ、被災者と共にそれぞれの地域の復興の道のりを見守り続けていくことを心より願っています。」(一部抜き書き)

天皇陛下は、お言葉のままに被災地を御見舞いされ国民をお励ましになってこられた。斯様に、歴代の天皇は国民を慈しみ更には戦争や災害で亡くなった同胞を悼み続けられた。国民も天皇を敬慕し、その大御心を心として復旧復興、国造りに努めてきた。これこそ、不文なれども我が国法理の根底であり、守り伝えるべき国柄なのだ。御代替わりの儀礼には、このうるわしき国柄を継承してゆくことを内外に宣言する意義もある。今年はその準備の一年である。



大御心を体して

志波彦神社 宮司 鍵 三夫

平成三十年（皇紀二六七八年）新春を寿ぎ、御皇室の弥栄と御国の安泰を御祈念申し上げます。

氏子崇敬者各位には旧年中、当社の神事・諸行事に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申上げる次第であります。

天皇陛下におかせられましては、一昨年に譲位のご意向をにじませるビデオメッセージを公表されました。そして昨年十二月に平成三十一年四月

月三十日譲位、五月一日即位・改元の日程が決定したことは皆様ご承知の通りであります。本年は約二百年ぶりに行われる譲位・即位に向けて様々な行事が検討される一年となります。

いずれにしても、「譲位」並びに「即位」に関する諸儀式は皇室の伝統を踏まえ国家的重儀として執行されるべきであります。

ビデオメッセージでの「天皇の務めとして国民の安寧と幸せを祈ることを大切に考えてきたが、人々の傍らに立ち、その声に耳を傾け思いに寄り添うことも大切なこと」との陛下の御言葉は、象徴としての御務めに真摯に向かい合っ

てこられた故である、と拝察いたします。東日本大震災より七年を迎えます。未だ完全に復興・復旧は成し遂げられてはいませんが、両陛下のお見舞いのお言葉は、被災者に

どれだけの希望と勇気を与えたことでありましょう。また、陛下のお姿を見つけてこられた皇太子殿下は「両陛下がまさになさっておられるように、国民常に寄り添い、人々と共に喜び、共に悲しむ」ということを続けていきたい」と述べられています。

天皇陛下から皇太子殿下へと受け継がれる大御心を、「陛下の赤子」たる我々一人ひとりが体していかなばなりません。

社と魚のまちを想う

(株)塩釜魚市場 代表取締役社長 志波彦神社 総代 志賀直哉

新年明けましておめでとうございます。

塩釜港での市場開催の許可や港湾整備、租税免除などの保護施策により、塩釜港開港恩人」と顕彰され、歴代伊達藩主で最も鹽竈神社を崇敬したことでも有名な、第四代目藩主綱村公が没後三〇〇年を迎えました。

綱村公が神社と港の繁栄を

呼び込んだ礎もあり、我々水産従事者は「鹽竈さま」に格別な思いがございます。大神様のご加護のもと四月に旋網漁の大漁・安全の祈願祭を挙

行するほか、祈年祭・例祭・志波彦神社遷座記念祭・新嘗祭の四大式典で献魚し、その度に水産発展の祈願を頂戴しました。

とりわけ氏子三祭の一角で

ある塩竈みなと祭は、産業復興と大戦の余波で困憊した市民の快復を願い、港に身を捧ぐ我々の先人を鼓舞すべく設

えられた祭事です。昭和期の新魚市場開設記念で当業界が志波彦神社のお神輿を寄進したそう、当時もまた五輪の自国開催で気運が高まった頃合いでした。それから約半世紀の時を超えた昨年、震災復

興の象徴として新塩竈市魚市場が全面開場を成し、縁（えにし）を感じずにはいられません。塩竈の二つ名「社と魚のまち」に違わぬよう、新たな体制のもと「鹽竈さま」発展に寄与して参ります所存です。参拝客に地域を回遊して貰う取り組みや、インバウンドを視野に入れた新魚市場づくりを産官学民で連携し、内外へ発信したいと思案しております。

新魚市場完全開場から初めて新年を迎えました。大神様のご加護により水揚げ高増進を遂げ飛躍の年となるようお願いしつつ、皆様方の御繁栄と御健康をご祈念し年頭の御挨拶と致します。

謹みて新年のご祝詞を申し上げます

平成三十年 戊戌 元旦

志波彦神社 鹽竈神社

代表役員 宮司

責任役員

- 阿部 久壽
- 横田 善三郎
- 阿部 勘九郎
- 佐藤 弘一
- 鈴木 雄次郎
- 野口 一郎
- 権宮司

総代

- 渡邊 昭彦
- 渡邊 邦彦
- 佐藤 徳雄
- 郷家 照彰
- 鈴木 野郎
- 菅野 邦雄
- 小島 仁一郎
- 佐藤 重忠
- 和田 信一郎
- 志賀 重信
- 阿部 仁信
- 水野 暢大
- 鈴木 健史
- 桑原 直茂
- 志賀 直哉
- 佐藤 晴一
- 佐藤 文吉
- 津原 宏彦

第七十回 奉献乾海苔品評会

審査会 一月五日(金)

午前十時 齋館

感謝祭 一月十一日(木)

午前十時 左右宮

本年も当社を会場に「鹽竈神社奉献乾海苔品評会」が開催されます。

第七十回となる今回は、一月五日(金)に審査を行い、十帖一束約三三〇g以上の乾



乾海苔の展示

海苔を一点として色・艶・手触りなどを厳選のうえ受賞者を決定します。
十一日(木)午前十時から鹽竈神社左右宮において関係者参列のもと奉献感謝祭が斎行されます。
優賞者および準優賞者は、両陛下・皇族様方への乾海苔献上という榮譽に浴することになっていきます。
当日は、出品された乾海苔を祭務所に展示いたします。御参拝の際には、是非宮城県名産の乾海苔を豊かな香りとともに御覧下さい。



乾海苔の審査

節分祭

二月三日(土)・四日(日)

毎年恒例の「しおがまさまの豆撒き」節分祭。

本年は二月三日(土)・四日(日)のそれぞれ午後三時から鹽竈神社左右宮において追儺式を斎行し、特設舞台より袴姿の年男・年女らが「福は内、鬼は外」の掛け声とともに福豆を撒き、皆様の厄除と招福を祈願します。また御協賛いただいた福景品の当り籤も、福豆とともに撒かれます。

豆撒きの参加申込みは以下の世話人方へお申込み下さい。定員は両日ともに二〇〇名、参加費は二万円です。



節分祭の豆撒き

節分祭年男年女世話人会

〈市外局番〇二二〉

・会長

佐藤 武志

南町 お茶の菅原園

(三六二) 〇〇二八

・副会長

佐藤 一臣

南町 漢方の塩竈芍薬堂

(三六二) 七八八〇

・郷家 照夫

南町 郷家第三歯科医院

(三六二) 四五七一

・小島 勇馬

藤倉 (株)小島蒲鉾店

(三六四) 四八五五

・松本 喜八郎

旭町 松本左官工業

(三六二) 三二七五

・佐藤 仁一郎

南町 ごんきや

(三六五) 五五五五

・菅原 周二

桜ヶ丘 (株)白寿殿

(三六六) 四一四一

・桜井 ふみ子

海岸通

和風スナックつた

〇九〇(五八四三)二七二二

・鈴木 壱彦

権現堂

(有)丸伸佐藤商店

〇九〇(二〇六九)二〇七〇

・大友 義雄

桜ヶ丘 (株)白寿殿

(三六六) 四一四一

・大場 喜藏

南錦町 大場酒店

(三六七) 〇九〇六

・高瀬 聰

尾島町

たかせさとし美容室

(三六六) 六四二〇

平成三十年 厄年に当る年歳

女性			男性			年齢	前厄	本厄	後厄
37歳	33歳	19歳	61歳	42歳	25歳				
昭和58年	昭和62年	平成13年	昭和34年	昭和53年	平成7年	平成6年	昭和52年	昭和51年	平成5年
昭和57年	昭和61年	平成12年	昭和33年	昭和52年	平成6年	平成6年	昭和52年	昭和51年	平成5年
昭和56年	昭和60年	平成11年	昭和32年	昭和51年	平成5年	平成6年	昭和52年	昭和51年	平成5年

新嘗祭齋行

十一月二十三日、一年の収穫を大神様に感謝する新嘗祭(産業振興大祭)が、斎行されました。

当日は、祭典と平行して、御神田米をはじめ鮮魚や蒲鉾・清酒・水産加工品・野菜・果実・菓子などの地場産品の数々を満載した奉曳車を曳いて御神前にお供えする「初穂曳」も実施されました。

午前九時三十分に一森山の麓を出発した奉曳車は七五〇人の氏子の奉仕により、小雨のなか、塩竈市内を奉曳し志波彦神社大鳥居前まで曳き上げられました。



初穂曳

稲穂
大場一美

宮城県農業協同組合中央
会・仙台農業協同組合多賀
城支店・J Aみやぎ登米・
㈱白寿殿・鈴木邦彦・文屋
清一・小柳建設㈱

新嘗祭奉献者御芳名

品を御紹介いたします。
(品目別・順不同・敬称略)

白米

新嘗祭齋行に際し、左記の方々から各種産物を奉納頂きました。ここに御芳名と献備

酒類



木遣りの奉納

鮮魚

阿部勘酒造㈱・㈱佐浦・一ノ蔵酒類販売㈱・麴屋酒造店・和田電気工事㈱・㈱やまや

㈱塩釜魚市場・塩釜市魚市場卸売協議会・塩釜地区機船漁業協同組合・塩釜市魚市場問屋協同組合・塩釜市魚市場買受人協同組合・塩釜市水産振興協議会・丸市冷凍㈱・㈱ワタベ魚類・ヤットハチ鈴木水産㈱・(有)三ツ扇・㈱菊池商店・㈱渡會・㈱魚力商店・㈱丸要漁業部・ぜんぎよれん食品㈱塩釜食品工場・㈱紀國谷商店・興隆丸・第三十八美阿丸・第十八栄雄丸



曳入証の授与



朝日子の舞

肥料

片倉コープアグリ㈱東北支店

野菜・果物

㈱塩釜地方卸売市場・八百大分店・北浜フードセンター・山田宏・千葉洋一・(有)八百照・鈴木正勝

菓子

サントノーレ洋菓子店・ヤマギシ洋菓子店・梅果堂・オダカ洋菓子店・土井精菓・(有)栄太楼・スギ製菓(海鮮せんべい塩竈)

カネサン後藤商店・プリンス食品㈱・㈱阿部善商店・㈱カネコ橋沼商店・㈱シーフーズ赤間・㈱阿部平蒲鉾店・㈱高浜・㈱小島蒲鉾店・㈱大膳・㈱武田の笹かまぼこ・勝山水産㈱・水野水産㈱・直江商店・(有)カネイ蒲鉾店・㈱マルヨ鈴木商店・(有)増友商店・マルブン食品㈱・(有)松島蒲鉾本舗・㈱ヤマス蒲鉾店・㈱まるご

蒲鉾

塩釜寿司業組合・シヨツプサトー・赤間水産・十字屋㈱・太田八郎商店・蜂屋食品㈱・えびや・理研食品㈱・㈱アベチヨウ・㈱松田製粉・㈱東日本ソルト仙台営業所・山内松閑・㈱間宮商店・㈱ヤマカ勝又商店・塩釜水産食品㈱・㈱丸大食品・㈱明豊・岸柳水産㈱・㈱ヤママサ

その他食品

塩釜市水産振興協議会・丸市冷凍㈱・㈱ワタベ魚類・ヤットハチ鈴木水産㈱・(有)三ツ扇・㈱菊池商店・㈱渡會・㈱魚力商店・㈱丸要漁業部・ぜんぎよれん食品

鹽竈講社だより

去る十月八日より十日にかけの三日間、講社大祭が鹽竈神社左右宮において盛大に斎行されました。祭典には県内各地のほか、全国より延べ四五〇名の講員が参拝されました。

その折、永年の継続講員に対し表彰状と記念品が贈呈されましたので、御芳名を御紹介いたします。

また、退任される世話人へ感謝状が贈呈され、新任の世話人へ委嘱状が交付されたので、併せて御紹介いたします。(敬称略)

平成二十九年度

継続講員表彰者

九十年度表彰
板宮 司・佐藤 幸司

八十年度表彰
星 健一・佐藤 久夫

佐藤 実・菊地 新一

相沢 芳子・郷右近 衛

片岡 一治・玉造 光一

入野田 光悦

七十年度表彰
鈴木 敏之・伊藤 久
土井 さゆい・市川 弘子

赤井 尚武・杉船 誠一

佐藤 みや子・荒井 賢一

村上 照代・西村 清子

鈴木 清弘・小林 健亮

星 三千男・加藤 信勝

鈴木 重雄・齋藤 実

鈴木 吉男・佐藤 ちや子

菊田 信・引地 嘉明

菊田 てい子・引地 繁雄

小幡 朝男・内海 敏幸

郷右近 隆夫・郷右近 恭子

櫻井 百合子・郷右近 健司

大河原支部(一名)

山田 正

六十年度表彰

皆川 博俊・中島 喜一

小野 邦彦・岩本 松治

末永 長悦・星 秀美

末永 竹雄・福岡 登

鈴木 益幸・阿部 ふよ

菊地 正・大友 久子

山川 弘行

大河原支部(三名)

氏家 義元・鈴木 孝房

菅野 忠

四十年度表彰

佐々木庄治郎・鈴木 功

小野 正・郷古 勝男

鈴木 定夫・八木 輝明

郷古 敏子・遠藤 幸男

伊東 剛・鈴木 勝男

鈴木 健治・末永 勝男

鈴木 新治・星 新蔵

氏家 とめし・鈴木 貞男

井荏 岩蔵・亀山 力

川崎 裕司

大河原支部(四名)

八島 雅彦・高橋 誠光

渡辺 正彦・鎌田 美智雄

三十年度表彰

阿部 諄生・加藤 信一

渡辺 みえ子・伊藤 廣作

若生 隆信・阿部 富雄

阿部 史子・池辺 常士

泉田 泰正・猪股 美恵子

大内 君子・大橋 みな子

小川 勝利・小野 きよみ

小野寺 隆男・開山 勝美

柏 佑整・鎌田 徹

川原 昭子・川村 則夫

菊地 剛夫・今野 徳雄

郷家 直美・斉藤 昭子

佐藤 典弘・佐藤 彰

佐藤 登・佐藤 安彦

佐藤 容子・篠崎 コト

鳴 助・瀬野 千鶴子

高橋 忠一郎・高橋 亨

玉澤 文男・坪山 雪江

畑山 好幸・平向 博

三浦 勇・三神 敏

木川田 重美・小川 剛正

伊藤 光晃・伊藤 良夫

伊藤 育夫・柏木 岳史

鎌田 拓治・川島 郁子

佐伯 英子・高橋 俐乃

玉川 良夫・星 秀二

東京城南会(二名)

花井 勝子・鶴田 浩吏

大槌支部(四名)

照井 元規・照井 宏佳

久保 ケフ・佐々木 福治

洗心講(八名)

木島 久子・恵津 勉

小幡 ひろ子・松戸 末治

渡辺 満雄・佐藤 昭彦

菅原 俊雄・堀 正孝

大河原支部(二名)

日下 安・小笠原 一郎

岩出山講(五名)

阿部 敏志・氏家 昭子

加藤 大祐

白井 國見・佐々木 光子

退任世話人(三名)

小国 町子(大槌支部)

阿部 理明(石巻地区)

佐藤 久夫(七ヶ浜地区)

新世話人(六名)

阿部 武(大槌支部)

鈴木 幸雄(仙台地区)

阿部 義正(石巻地区)

櫻井 邦雄(松島地区)

小川 浩二(松島地区)

大友 光子(松島地区)

嘉津良比祭齋行

去る十二月一日、鹽竈神社左右宮において特殊神事「嘉津良比祭」が齋行されました。この神事は、「勝来祭」「神迎祭」とも呼ばれ、かつて東北の地を開拓平定された鹽竈神社の三柱の御祭神をお迎えし、その凱旋を祝い御神徳を讃えたことに由来すると伝承されています。

曲木神社 橋修復工事奉告祭

十一月五日に曲木神社橋修復工事奉告祭並びに落成式が執り行われました。

毎月一日の月次祭の際には、古くは仮橋を架け神事が執り行われていましたが、参拝の不便等を考慮し、昭和五十四年に橋が設置されました。その後四十年近くが経ち、劣化が進んだため、参拝者の安全を考慮し修復工事が行われました。

神事後に橋を葺い清め、一同揃って渡り初めが行われ、

垂を結わえた「ミカツライ」、そして「兜餅」がおそなえされます。

「兜餅」は、一升の餅を七つ取りにし、これを兜のごとく重ねて頂部に蕪をのせたもので、凱旋した武将らが餅を搗いて分かち合ったことに由来するとされています。



兜餅

落成式では、施工に携わった関係者に実行委員会から感謝状が贈呈されました。



橋の渡り初め

釜神 奉納奉告祭

去る十月十一日に釜神奉納奉告祭が齋行されました。

これは宮城県岩沼市在住の「釜神木彫りの会」講師小堀正久氏によるもので、鹽竈神社の竈の安全と地域社会の安寧・平和への願いを込めて作成されました。

樺素材で、大きさは七十cm、千条飾り彫りの技法でつくられた釜神を別宮拝殿にお供えし奉告祭が齋行され、記念品が贈呈されました。

敬神婦人講だより

仙台キリスト教育院

七五三詣

当社敬神婦人講では、社会福祉事業の一環として昭和三十五年から毎年、仙台キリスト教育院「丘の上子どもホーム」の院児たちを七五三詣に招待しております。

昨年十一月十六日、七五三に該当する五名の院児を招き、お祝いいたしました。御祈禱では緊張気味にかしこまっておりますが、婦人講員



奉納された釜神

釜神とは

土間の竈近くの柱に神としてまつられる面の形態をした火の神、家の守り神。釜の神・竈神・カマ男などともいい、宮城県から岩手県南部にまたがる旧仙台藩領を中心に分布しています。

と一緒に志波彦神社前でハトに餌をあげたり、大講堂で食事をするうちに打ち解けた様子となり、楽しい一日になりました。



七五三詣

菊花展

去る十月二十九日から十一月十二日まで、神社馬場を会場に「第六十七回塩竈市菊祭り」並びに「宮城中央菊花展」が開催されました。

丹精をこめて育成された数々の出品作が秋の境内を彩り、参拝者らの目を楽しませました。

これらの作品は、各部門ごとに厳正な審査がなされ、優れた作品には賞が贈られました。このうち、大菊盆養競技花の部において星定信殿、大菊盆養七本立の部において佐々木昭典殿が神社賞に選ばれ、十一月十九日に神社大講堂で表彰式が行われました。



参拝記録

九月から十一月にかけて当社を正式参拝された方々を左記に御紹介いたします。
(敬称略)

九月

- 二日 國學院大學大学院客員教授 中西正幸氏
- 四日 國學院大學指定実習Ⅱ受講者 五名
- 十一日 皇學館大学文学部神道学科 十四名
- 十二日 皇學館大学文学部国史学科 十三名
- 十七日 洗心講 講長 明石正三氏ほか世話人 九名
- 二十二日 神奈川県・海老名おわら四季の会 二十名

十月

- 三日 新潟県神社庁新潟支部
- 六日 新潟市神社総代会 二十七名
海上自衛隊横須賀基地 第四十一掃海隊
掃海艇「ちちじま」 二十名
- 十二日 全国神職養成機関教務主任会議 十六名
- 十三日 山梨県・境川地区民生委員
児童委員協議会 十八名
- 二十六日 福島県・石都々古和氣神社塩釜神社
宮司 吉田英高殿ほか十八名

十一月

- 七日 定例宮城県別表神社
- 十四日 栃木県・北那須郡市総代会第三支会 四十名
- 十九日 宮城県神社保育連合会 四十一名
- 二十七日 千葉県・姉崎神社氏子参拝団 三十名
- 九州式内社顕彰会 十五名

越中おわら節 奉納

九月二十二日に神奈川県海老名市で活動している「海老名越中おわら四季の会」による越中おわら節の奉納が行われました。

越中おわら節は富山県に伝わる民謡で、三味線・胡弓・太鼓・歌い手・お囃子の演奏にあわせ踊る艶やかで優雅な女踊り、勇壮な男踊りがあります。特に哀調のある音色を奏でる胡弓の調べは独特の味わいをもたらしています。



越中おわら節の奉納

参拝者は足をとめ、興味深げに見入っていました。

槍奉納奉告祭

去る十月二十七日、神奈川県在住の大竹廣和氏より奉納された、槍二十八口の奉納奉告祭が斎行されました。

奉納の槍は、大竹氏が長年にわたり収集されたもので、氏の篤志により当社に御奉納

いただきました。

これらは「大竹コレクション」として博物館に一括收藏し、刀剣の普及活動や展示において活用させていただく予定です。

主な作品は、この度の新春特別展にてお披露目いたします。

博物館だより

平成三十年新春特別展

「新春刀剣展」開催

鋼の美術工芸品として高い評価がなされている日本刀は、私たちの歴史において大きな意義を持つ文化的な財産です。本展では、館藏品・新収藏品に協力出品作品を加え、約四十点の刀剣類を展示致します。作品を通じ、日本刀の魅力の一端に触れていただければ幸いです。御参拝の折には、ぜひご覧いただきますよう御案内申し上げます。

◇会期

平成三十年一月一日(月)

～一月二十一日(日)

◇開館時間

午前八時半

～午後五時まで

◇観覧料金

(会期中は無休)

一般(含大学生)三〇〇円

高校生以下無料



奉納の槍 (銘 来国秀)

ご結婚おめでとーごさいます

九月から十一月にかけて、当社にて華燭の典を挙げられた方々を御紹介いたします。(敬称略)

九月

仙台市	高橋	大祐
大崎市	大久保	弥生
仙台市	庄司	裕信
仙台市	工藤	彩子
北海道	吉澤	徳洋
多賀城市	小松	千洋
新潟県	久住	知裕
柴田郡	丹野	佑紀
塩竈市	齋藤	敦史
加美郡	渡邊	享子
大崎市	高橋	貴富
遠田郡	高泉	雅葉
石巻市	佐々木	崇文
東松島市	土井	歩
東京都	河野	広介
登米市	高橋	美和

十月

宮城郡	高橋	顕彰
埼玉県	高山	恵
仙台市	宇田川	寛晃
仙台市	安達	優
塩竈市	吹田	大慈郎
青森県	齋藤	千華
仙台市	菊地	敦
加美郡	猪股	愛美
埼玉県	影山	奨
多賀城市	沢田	慧
福島県	菅野	晃
柴田郡	津田	なつき
塩竈市	松本	泰弘
千葉県	篠宮	悠
仙台市	向口	修人
北海道	松原	麻奈
大崎市	加藤	勝人
仙台市	太田	志真
仙台市	松澤	敬輔
仙台市	佐藤	菜美子

十一月

宮城郡	小岩	明仁
塩竈市	須藤	香
東京都	川又	克久
塩竈市	佐藤	友貴子
塩竈市	千葉	聡
気仙沼市	齋藤	綾
仙台市	熊谷	健太郎
仙台市	庄司	みのり
東松島市	児嶋	和彦
石巻市	阿部	美和
宮城郡	長谷川	大
石巻市	阿部	かおり
大崎市	岡本	一志
仙台市	菅原	悠
塩竈市	高橋	祐樹
塩竈市	浅野	陽子
岩沼市	橋本	直武
石巻市	渡辺	南
仙台市	鎌田	涼
岩手県	小原	かな江

養成所通信

宮城郡	鈴木	邦彰
塩竈市	佐々木	一子
仙台市	吉田	悟
仙台市	大友	尚枝
仙台市	早坂	啓
福島県	長谷川	祐子
仙台市	館澤	彰啓
栗原市	遊佐	美智子
愛知県	宮	佑輔
多賀城市	谷	美衣奈
仙台市	永井	孝憲
仙台市	庄子	未緒

合同実習に参加

当社神職養成所では昨年十月二十六日から二十九日にかけて、神職養成機関普通課程合同実習Ⅰに参加しました。

全国六箇所の神職養成機関から集まった生徒らは、内宮・外宮を参拝し五十鈴川での禊や神宮神職の講話

教務主任会議開催

去る十月十二日と十三日の二日間、平成二十九年度の教務主任会議が当社を会場に開催されました。

神社本庁総合研究所田中恒清所長を始め十九名が出席し、各養成機関提出の議題について話し合われました。



合同実習

を受講しました。四日間の日程を通じ、生徒らは神職としての素養を修養したほか、他の養成所生徒との交流を深めました。実習終了後は修学旅行を実施し、近畿地方の著名大社を参拝しました。

